

教員名

辻本 千春

神戸市主催 『2020年度 学生海洋ビジネスアイデアコンテスト』

商品開発型
自治体・国

2020年10月3日(土)オンラインによる2次審査風景



企画・活動概要

観光学科 辻本 千春ゼミ(研究演習Ⅱ、3年生)

『2020年度学生海洋ビジネスアイデアコンテスト』(主催:神戸市) 優秀賞

【受賞テーマ】神戸の海で「健康・スポーツ・食」体験

『2020年度学生海洋ビジネスアイデアコンテスト』2次審査(オンライン)が2020年10月3日(土)に行われました。後日、結果が発表され、人間社会学部観光学科・辻本千春ゼミが、大学生部門において『優秀賞』を受賞しました。

神戸の海洋に関する課題やポテンシャルを解決または展開し、神戸の海をより魅力的な場所にするためのビジネスアイデアを募る当コンテスト。ゼミの学生たちは、神戸の海を観光の視点から考えて、「健康、スポーツ、食」が融合したまちを新たなビジネスとして提案しました。審査員の方々からは「海の観光業として、国内外の事例も踏まえた新たなビジネスの提案がなされていた」と、アイデアや今後の可能性を評価いただきました。

経緯・背景・目的

2020年度の前期はオンライン授業となり、フィールドワークに出る機会がありませんでした。社会共創プログラム『神戸市主催の2020年度 学生海洋ビジネスコンテスト』の告知が出たため、観光まちづくりのゼミとして応募することに決めました。

ゼミのテーマである観光マーケティングに従い、「海洋ビジネス」に観光の視点を入れることで観光商品あるいは観光施設を想定しました。ただし、オンライン授業のため12名のゼミ生との会話はできても細かいニュアンスを整理するのは難しかったと思います。

- ・3年生は、神戸市主催「2020年度 海洋ビジネスコンテスト」に応募
- ・9月9日(水) 1次審査通過
- ・10月3日(土) 2次審査、オンラインプレゼンを大学の教室から、間隔をあけてゼミ生全員が参加して行った。
- ・11月2日(月) 優秀賞受賞

取り組む課題

《エントリーで提出した企画概要》

私たちは観光まちづくりのゼミです。神戸の海を観光の視点から考えて、「健康、スポーツ、食」が融合したまちを新たなビジネスとして考えました。(海上)アスレチックを中心に、併設したスポーツ施設や水上ホテル、水中レストランを「神戸の環境にやさしい都市」の機能を活用して考えます。もちろん、食も大切な要素なので、BBQスペースや食べ歩き屋台スペースも備えて、年中「お祭り」を楽しめる施設にします。

本学(学生)の役割

まず、各メンバーに対して自分の意見を書くことから始めました。その中から「海の施設」という意見が複数出てきたので、その点に絞り調べてゼミで発表することになりました。

海中レストラン、海中ホテル、海上アスレチックなどに絞られて来たため、メンバーごとにさらにテーマを決めて企画の深追いをしてもらいました。もちろん発表も議論もZoomでした。

それらの意見をまとめて、パワーポイントに落とし込んで作成し、発表の練習を何回か行い挑戦しました。



活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

今回は観光の視点からの提案が評価されたのと、12名という人数でオンライン授業のさなかにまとまった点が評価されました。何回も議論を繰り返すうちにブラッシュアップされ、企画がまとまっていくのが分かり、リーダーはじめメンバーは手ごたえを感じていたと思います。



指導教員および関係者の紹介

人間社会学部
観光学科
教授
辻本 千春

